

# ボールの特性レポート

## BALL REPORT



ボール名 <b>バジャー・インフューズド</b>	投球者 <b>徳江 和則</b>	センター <b>平和島スターボウル</b>
RG <b>2.570</b>	△RG <b>0.041</b>	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

**テストボール：バジャー・インフューズド**

フレアーの幅  
[ ] インチ

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤

**比較対照ボール：ハニーバジャー・ディービー**

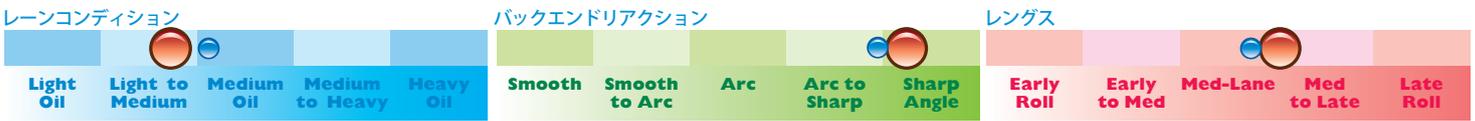
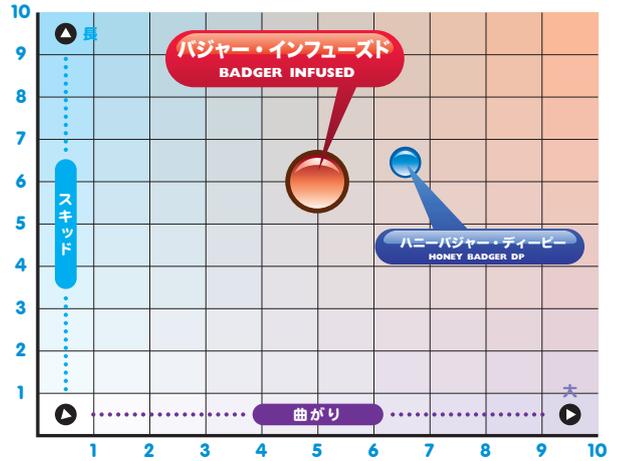
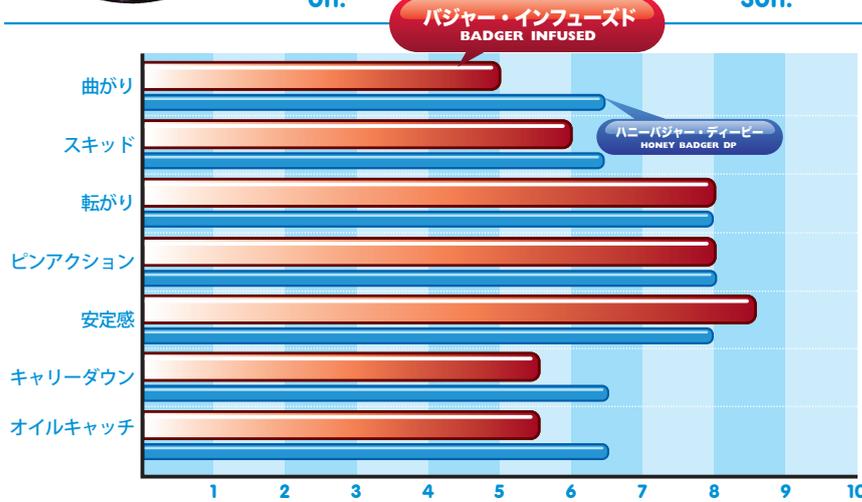
フレアーの幅  
[ ] インチ

PAPからピンとの距離  
**4-1/2** インチ

表面加工  
 箱出し状態  
 加工  
 ペーパー  
 ポリッシュ  
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



### ボールの評価

Badger InfusedはS28 Blended Pearl Coverstock 表されており、70/30とネーミングされている通り、70%のリアクティブと30%ウレタンとを混合させたブレンドカバーストックを特徴としています。

このボールの開発の経緯は、トーナメントコンディションでウレタン素材では十分ではないが、リアクティブのボールリアクションを制御することが難しい時に使用できることを目的としてつくられました。

リアクティブとウレタンの混合カバーストックは900Globalだけではありませんが、やはりリアクティブでは扱い辛いラインだけどウレタン素材までではないという、これもスポーツコンディションでの変化の過程で現れるオイルの薄さであったり、長さ等にみられる微妙さをボールで対応させようという試みの一つであり、各社ブレンドカバーにすることでオーバーアクション軽減とウレタンにはない入射角を得られることで、リアクティブとウレタンの双方良い部分を掛け合わせボールの性能に表すボールという事でしょう。私にはBadgerシリーズでこのInfusedは十二分アリだと思います。Badgerで使用しているLacerateコアはBadgerのイメージであるバックエンドの鋭い動きが出せるコアです。そのコアを使いリアクティブとウレタンの混合カバーを使うことで、ウレタンのやや反応が緩慢になる傾向をコアの性能で補うこともマッチされており、900Globalの中で混合カバーを使うのであればこれがベストであろうLacerateコアと思えるほどベストマッチであり、ベストパフォーマンスだと言えます。

今まではリアクティブ素材でうまくいかないドライレン環境はウレタン素材という図式でしたが、その前にこのBadger Infusedのような混合素材がチョイスできるようになりました。スポーティーなコンディションに対峙するボウラーは混合カバーのボールをいち早く手にし、コンディションとのマッチングを行っておくべきでしょう。

### 特記事項

**リアクティブとウレタンとのブレンドカバー。その特性を活かしリアクティブからウレタンのボールチェンジの、特にウレタンで物足りない感じのコンディションにちょうど収まる領域のボールです。**